

施工業者様用

〈施工説明書〉

ランドリーノ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・洗剤・消臭剤などの使用禁止

洗剤・消臭剤・殺虫剤が製品に直接付着すると、変色の原因になります。ベンジン・アルコール・シンナーなどを使用されますと、変色・変質することがありますので、絶対に使用しないでください。



必ずおこなう

・輸送・保管は慎重に!

輸送の際には、荷崩れや衝撃に十分注意してください。

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・間柱・補強浅等の下地処理

当製品は、壁面に直接固定するため、間柱・補強浅等の下地処理が不十分ですと、転倒、脱落してケガの原因となりますので、桝木の取り付け位置には、胴縁および間柱等の下地を必ず入れてください。

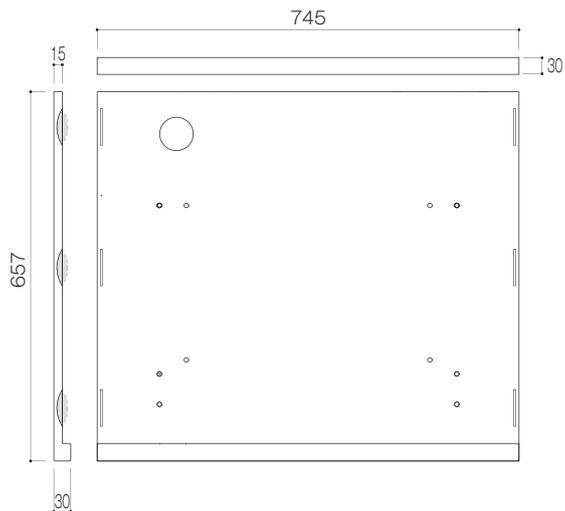
※設置の際は必ず2人以上で作業してください。重量物のため、1人での作業は行わないでください。

※ビスで固定する場合、電動ドリルなどで過度に締め付けないようにしてください。

ビスを締め付けすぎると空回りしてしっかり固定出来なくなり、事故等の原因となります。

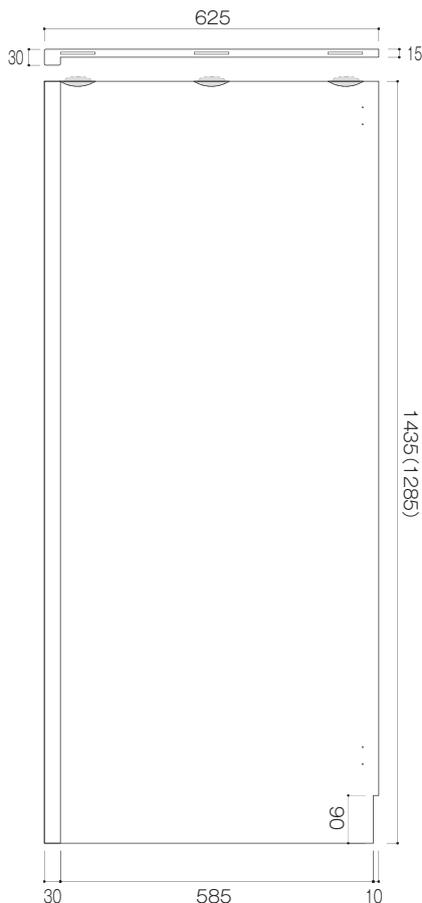
梱包内訳

■天板



■側板

()内の寸法値はH1300タイプの寸法値です。



■棧木



単位(mm)

各種部材	STL1300P-BG-■	STL1450P-BG-■	備考
天板	745×657×30(×1枚)	745×657×30(×1枚)	—
側板	1285×625×30(×2枚)	1435×625×30(×2枚)	—
棧木	715×130×15(×2枚)	715×130×15(×2枚)	—
組立て補助材	715×65×15(×1枚)	715×65×15(×1枚)	—
配線キャップ	 1個	1個	—
ビスケット	 8枚	8枚	—
接着剤10g	1本	1本	ビスケット固定用
棧木用L金具セット	 棧木用L金具(×4個)	棧木用L金具(×4個)	—
	 カバー(×4個)	カバー(×4個)	—
	取付ビス(×16本)	取付ビス(×16本)	ビスM5×16
	ワッシャー(×16枚) 棧木固定用ビス(×4本)	ワッシャー(×16枚) 棧木固定用ビス(×4本)	— 化粧キャップ付ビスM4.2×69
天板・側板・床用L金具セット	 天板・側板・床用L金具(×8個)	天板・側板・床用L金具(×8個)	—
	天板・側板 取付ビス(×24本) 床 取付ビス(×8本)	天板・側板 取付ビス(×24本) 床 取付ビス(×8本)	ビスM3.5×16 ビスM3.5×30
	RDT-80/RDT-54S-SV RDT-31Sシリーズ 取付ビス (×4本)	RDT-80/RDT-54S-SV RDT-31Sシリーズ 取付ビス (×4本)	ビスM5×50 (タッピングビス)
乾太くん取付けセット	RDT-93/RDT-63シリーズ 取付ビス(×4本)	RDT-93/RDT-63シリーズ 取付ビス(×4本)	ビスM5×30 (タッピングビス)
	ワッシャー(×4枚)	ワッシャー(×4枚)	—

※穴無し使用の場合、天板に加工穴はありません。

(1) 開梱

梱包を解いたら、当製品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

製品に水濡れ等不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

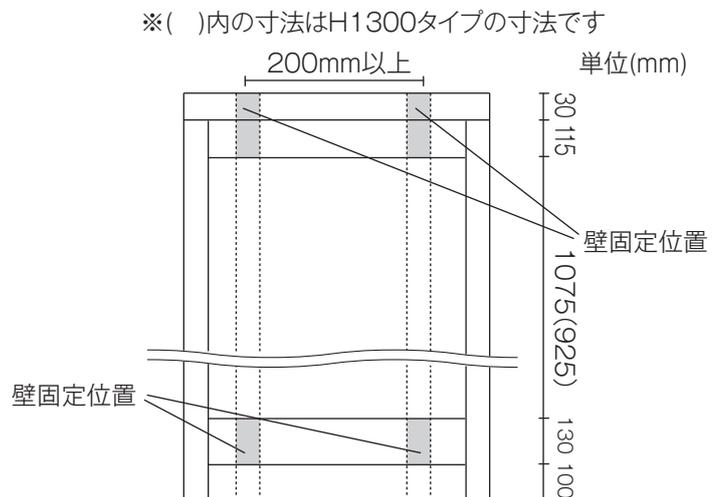
(2) 施工

① 下地の確認

ランドリーノの設置面(壁面)には下地材として、石膏ボードの裏に厚みが12mm以上の合板または間柱等がある事を確認してください。

⚠ 注意

適切な下地がない場合はユニットの転倒や落下の原因となります。



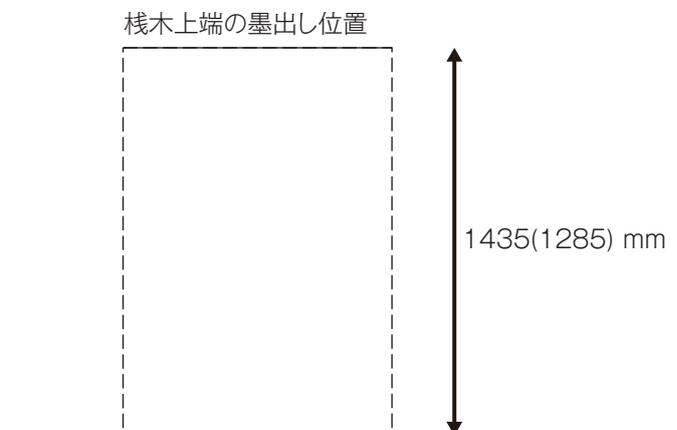
② 墨出し

天板側の栈木が取りつく上端の位置を水平・垂直で墨出ししてください。

墨出し位置は

H1450タイプの場合1435mm、

H1300タイプの場合1285mm となります。



③ 栈木用L字金具を栈木に取り付け

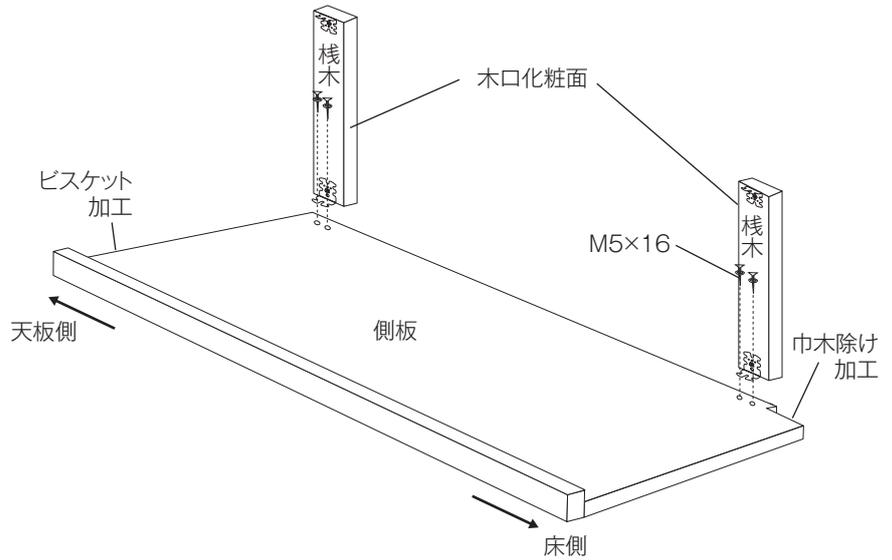
栈木両端の下穴に栈木用L金具を取付けビスとワッシャーで固定してください。付属の栈木2枚それぞれの両端、計4か所に栈木用L金具を取り付けます。

※栈木用L金具には方向があります。L金具の長い側を栈木に当てて固定してください。



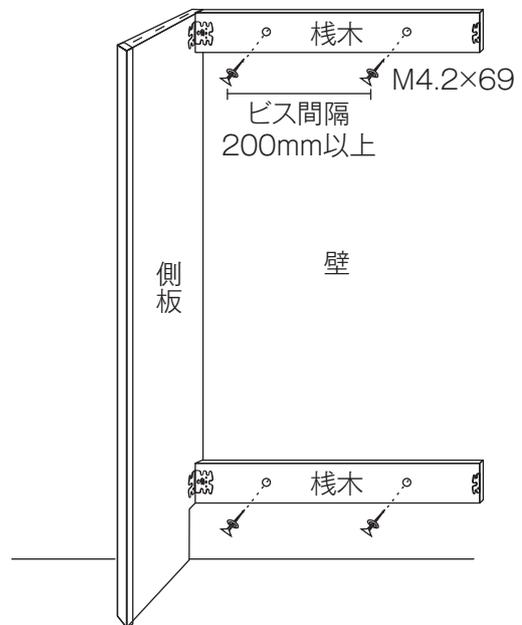
④ 棧木を側板に取り付け

側板に空いている下穴に、③で棧木用L金具を取り付けた棧木を取付けビスとワッシャーを打って固定してください。棧木は、木口が化粧されている面を内側にして取り付けてください。



⑤-1 棧木・側板を壁に取り付け

側板の上下を確認します。上側(天板側)にはビスケット加工があり、下側(床側)に巾木除け加工があります。確認後、②で墨出した棧木の上端位置を合わせ、壁面に棧木固定用ビスとワッシャーを棧木1枚あたり2本打ち込んで固定してください。ビス同士の間隔は200mm以上空けて、下地補強のされている箇所に打つようお願いいたします。



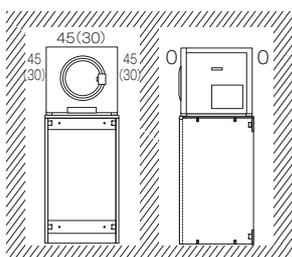
警告 ガス衣類乾燥機 乾太くんを設置する場合、以下の注意事項をご確認ください。

❗ 家具や壁・棚など可燃性の部分との距離を十分に離す

防火上必要な離隔距離をとって設置してください。火災や機器過熱によるやけどの原因になります。

■防火上必要な離隔距離(mm以上)

乾太くんデラックスタイプの場合は()内の距離



■メンテナンス上、必要な離隔距離(mm以上)

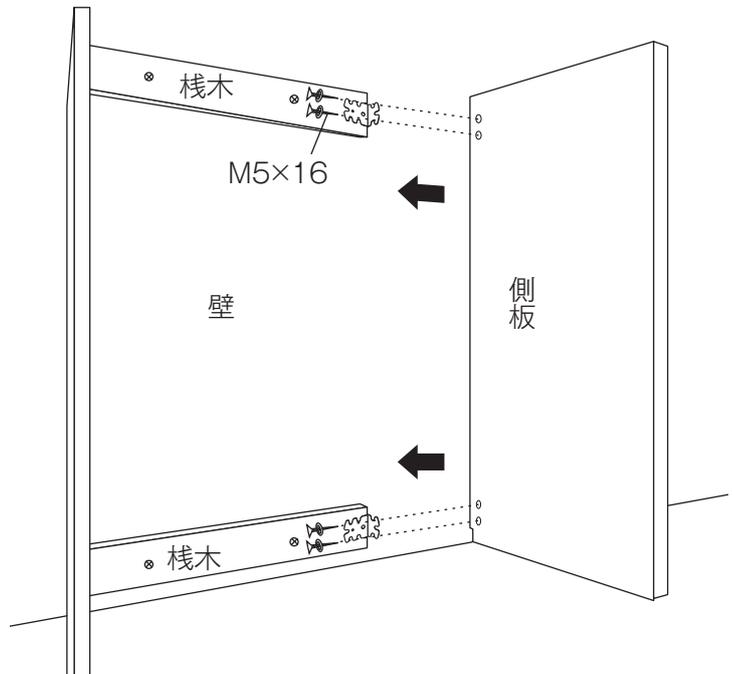
上方	300	後方	45
正面左側方	250	前方	500
正面右側方	100		

表の離隔距離は、機器を下ろして作業する場合に必要なスペースです。

※その他、設置される乾燥機の設置条件をご確認の上、指示に従って設置してください。

⑤-2 もう一方の側板の取り付け

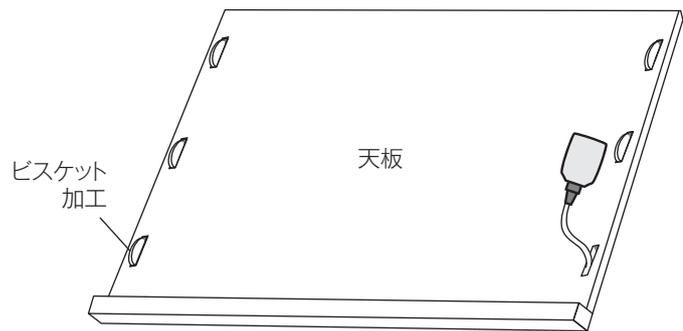
棧木ともう一方の側板を図の位置に取付けビスとワッシャーで固定してください。



⑥-1 天板の取り付け ビスケットの挿入

天板裏面の合計6個のビスケット加工穴に同梱の接着剤を注入して、ビスケットを取り付けます。接着剤の塗布量はビスケットをはめて少し溢れ出す程度入れてください。

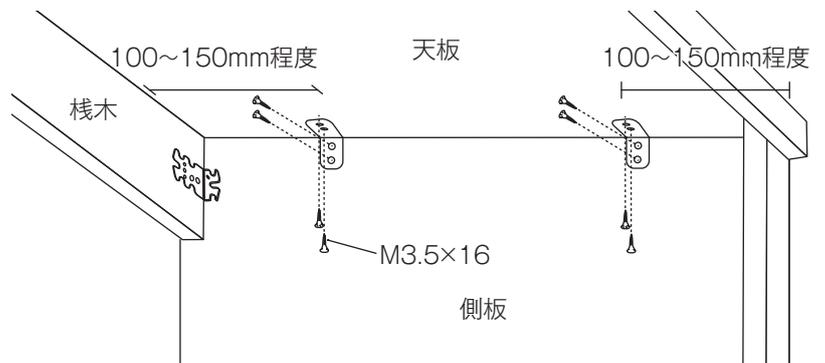
その後、側板のビスケット加工穴にも同量の接着剤を注入してください。※接着剤が製品についた場合は速やかに拭き取ってください。



※接着剤は1~1往復半程度入れてください。

⑥-2 天板と側板の固定

⑥-1でビスケット取り付け済みの天板を側板に隙間なくはめ込み、L金具の固定位置に下穴をあけ、天板・側板 取付ビスで固定します。側板1枚につき、L字金具は2個使用します。



⑦ 床への固定

補助材を側板の内々に仮置きして、側板の内寸をそろえてください。その後、L字金具の取り付け位置に下穴を開けて、床側・側板側をそれぞれの取り付けビスで床と側板を4ヶ所固定してください。

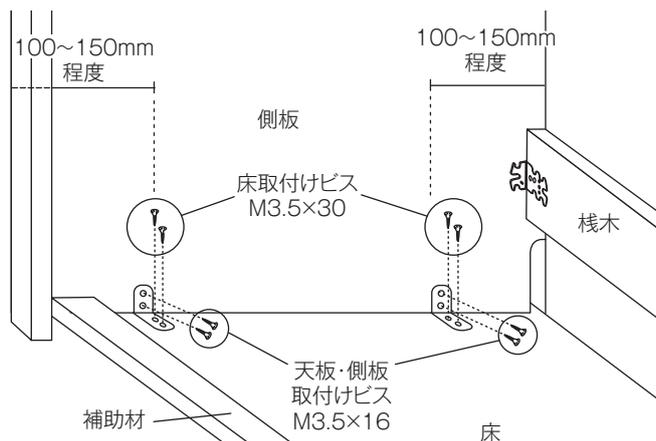
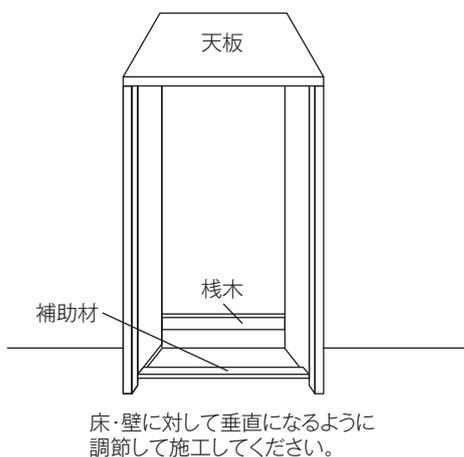
⚠ 注意



必ずおこなう

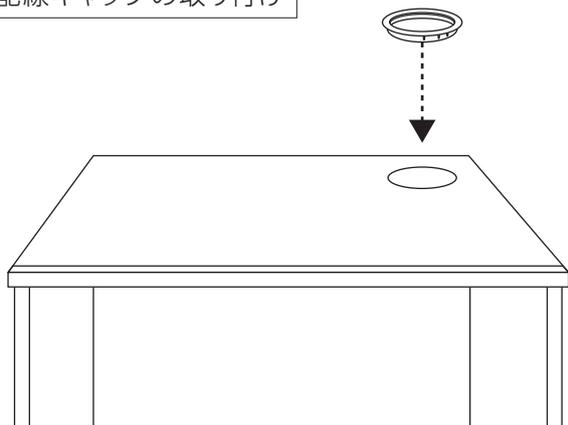
側板が床面に対して垂直か必ず確認してください。

※補助材に関して補助材は幅65mm、色はランダムとしています。

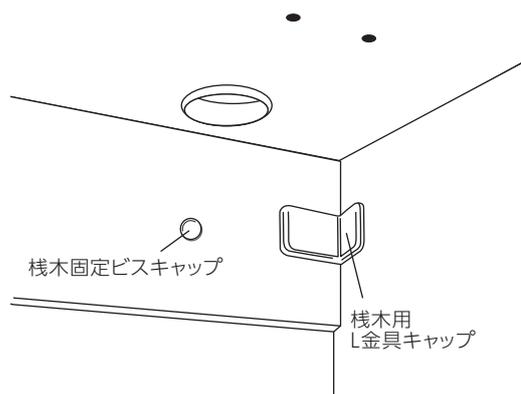


⑧ 同梱の各種キャップ類をはめこむ。

配線キャップの取り付け



栈木用L金具キャップ・栈木固定ビスキャップの取り付け



ガス衣類乾燥機乾太くん設置時の固定方法

⚠️ 注意

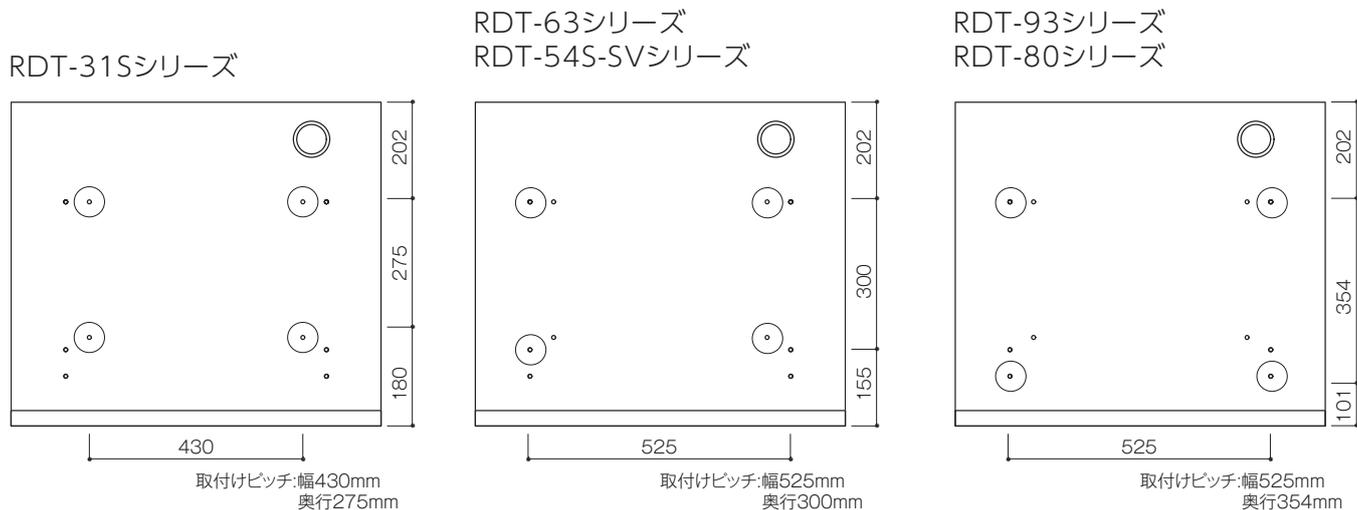


必ずおこなう

- 乾太くんは各シリーズで取り付けの穴位置が異なります。※各シリーズの○印位置に同梱の専用ネジで固定してください。
- ランドリーノ本体がしっかり固定されている事を確認してから乾太くんを取り付けてください。
- 落下・転倒防止のため、同梱の専用ネジで固定してください。

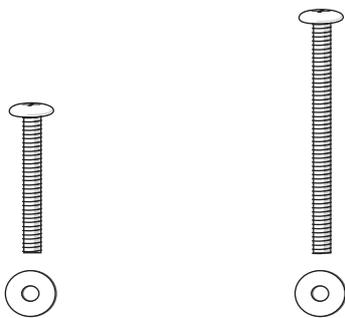
■ランドリーノ天板平面図

取り付ける乾太くんのシリーズを確認し、穴位置を確認してください。



■乾太くん取付ビス

取り付ける乾太くんのシリーズを確認し、
取付ビスを確認してください。

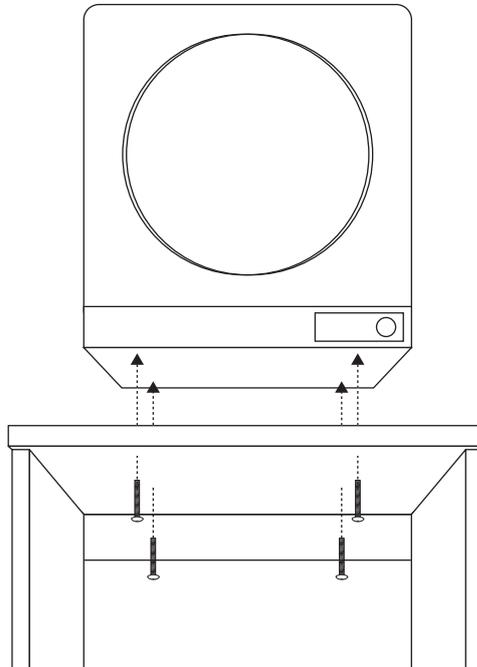


RDT-63シリーズ
RDT-93シリーズ

取付ビス
ナベM5×30
(タッピングビス)

RDT-31Sシリーズ
RDT-54S-SVシリーズ
RDT-80シリーズ

取付ビス
ナベM5×50
(タッピングビス)



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

- ・表面・裏面共に、ほこり、小さな汚れは乾いた布で拭いてください。水気のある布を使用されますと、シートのはがれやシミの原因となります。
- ・洗剤・消臭剤・殺虫剤が製品に直接付着すると、変色の原因となります。ベンジン・アルコール・シンナーなどを使用されますと、変色・変質することがありますので、絶対に使用しないでください。

WOODONE